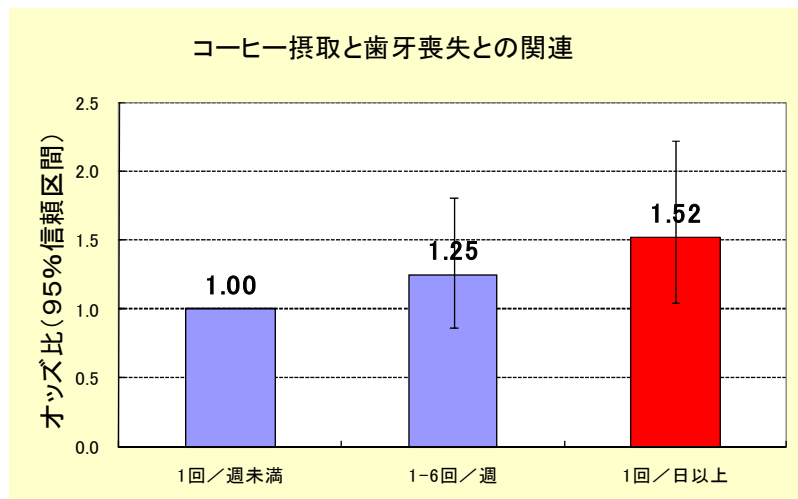


## 大阪母子保健研究ベースラインデータの結果 飲料摂取と歯牙喪失との関連

**背景：**摂取飲料の種類や量が変化しており、飲料摂取と口腔疾患との関連が注目されています。今回、若い成人を対象として、様々な飲料摂取頻度と歯牙喪失との関連について調べました。

**方法：**大阪母子保健研究のベースライン調査に参加した 1002 名の妊婦さんを対象としました。今までに 1 本以上永久歯を抜歯したことがある場合を「歯牙喪失あり」と定義しました。栄養摂取は、食事歴法質問調査票を使用しました。年齢、ベースライン調査時妊娠週、子数、能動喫煙状況、家庭内及び職場での受動喫煙状況、家計の年収、教育歴、過去 1 ヶ月の食事変容、回答時の季節及び BMI を交絡因子として補正しました。

**結果：**飲料の摂取頻度によって概ね 3 等分すると、コーヒー摂取では、週に 1 回未満と比較して、一日に 1 回以上では、歯牙喪失の有症率の高まりと有意に関連していました。コーヒー摂取の際の砂糖使用の有無別に解析したところ、砂糖を使用していない群でのみコーヒー摂取と歯牙喪失との間に有意な正の関連を認めました。緑茶摂取では、第一 3 分位に比較して、第二 3 分位でのみ有意な正の関連を認めました。牛乳、紅茶、コーラ及び 100%フルーツジュースの摂取頻度と歯牙喪失との間に関連を認めませんでした。



たところ、砂糖を使用していない群でのみコーヒー摂取と歯牙喪失との間に有意な正の関連を認めました。緑茶摂取では、第一 3 分位に比較して、第二 3 分位でのみ有意な正の関連を認めました。牛乳、紅茶、コーラ及び 100%フルーツジュースの摂取頻度と歯牙喪失との間に関連を認めませんでした。

**結論：**若年成人女性において、コーヒー摂取は歯牙喪失の有症率の高まりと関連があるのかもしれませんが。

**出典：**Tanaka K, Miyake Y, Sasaki S, Ohya Y, Matsunaga I, Yoshida T, Hirota Y, Oda H, The Osaka Maternal and Child Health Study Group. Beverage consumption and the prevalence of tooth loss in Japanese women: the Osaka Maternal and Child Health Study. Fukuoka Igaku Zasshi. 2008; 99: 80-89.